



▲全国大会に出場する神代第1分団

兵庫県消防操法大会(下段記事参照)のポンプ車の部で優勝した神代第1分団が、10月7日に東京都で開催される全国消防操法大会に出場します。市消防団が全国大会に出場するのは初めての事であり、全国という大舞台での活躍が期待されます。

全国大会出場



▲ホームステイ先の人たちと阿波踊りを踊りました

学生海外派遣団がセライナ市から帰国

市では国際色豊かな人材育成を目的として、市内在住の高校生8人と引率者4人を7月25日～8月6日までの13日間、国際姉妹都市提携を結ぶアメリカ合衆国オハイオ州セライナ市へ派遣しました。派遣団は市役所中央庁舎で8月14日、帰国報告を行いました。

派遣団はホストファミリーの家に滞在しながら、図書館や農場、新聞社などの施設を見学。報告会では、最初不安そうにしていた学生たちが日が経つことに打ち解けていった様子などが、話されました。坂本陵紀さん(淡路三原高)は「最初から最後まですべてが刺激になり、良い体験ができた」と話しました。



▲海外派遣団と中田市長



▲協定を結んだ淡路三原高校とイングランドの丘の関係者

淡路三原高校とイングランドの丘

新商品開発に向けて協定締結

淡路三原高校食物部と淡路ファームパーク イングランドの丘が、淡路島の食材を活かした新しい商品開発を行い、普及に努める「淡路島の『おやつ』プロジェクト」を立ち上げ、8月1日に協定を結びました。

高校生の若い感性あふれるアイデアを取り入れた新商品の開発を進めようと、イングランドの丘では、施設内で気軽に食べられたり、旅のおともにも持って行きたくなる淡路島らしいおやつ(スイーツ)の開発に向けて、地元淡路三原高校に協力を呼びかけ、同校の食物部(部員数41人)が協力することになりました。特産のタマネギや米、牛乳、ちりめん、ワカメなど、淡路島の食材を生かしたおやつ、家族や仲間と話しながら食べたくなる飽きのこないおやつを開発を進めます。おやつのでアイデアやレシピを考案して同校の10月の文化祭までに試作品を作り、来年1月の商品化を目指します。

終戦から67年を迎えた8月15日、若人の広場で市関係者ら約40人が参列し、献花式が執り行われました。正午の時報とともに黙とうを捧げた後、参列者一人ひとりが白菊を献花して戦没学徒の霊を慰めました。式典で中田市長は「戦没学徒の犠牲の上に今日の日本の平和と繁栄がある。多くの人が訪れるように若人の広場を整備して、世界の恒久平和をこの地からともに祈っていきたい」と話しました。

恒久平和を祈って

若人の広場で献花式



▲操法を行う賀集第1分団第1部

市消防操法大会のポンプ車の部で優勝した神代第1分団と、小型ポンプの部で優勝した賀集第1分団第1部が淡路地区大会でそれぞれ優勝し、兵庫県広域防災センターで8月5日に行われた兵庫県消防操法大会へと駒を進めました。

賀集第1分団第1部が淡路地区大会でそれぞれ優勝し、兵庫県広域防災センターで8月5日に行われた兵庫県消防操法大会へと駒を進めました。県大会でも両分団は素晴らしい操法を披露し、好成績を収めました。

【県大会結果】

- ◆ポンプ車の部 優勝
- ▽神代第1分団
- ◆小型ポンプの部 3位
- ▽賀集第1分団第1部



▲戦没学徒の冥福を祈って献花する中田市長

今月の納税

固定資産税(普通徴収)・・・【3期】

納期限 10月1日(月)

《納期限内に忘れず納付しましょう》

- ◆口座振替を利用する人は、預金残高の確認をお願いします
- ◆市税の納付には、納め忘れがなく便利な口座振替をご利用ください
- ◆今年度より納付書については、1期送付時に2期以降の納期分をまとめてお送りしています。(紛失した人は再交付しますので、市役所税務課、収税課または最寄りの総合窓口センターへお申し出ください)

◆やむなく納付困難な人は早めの相談を!

市税は、福祉や保健、ごみ処理、教育、道路整備など私たちが安心して健康な生活をするための重要な財源になります。

市税を滞納する事は、納期限内にきっちり納税している大多数の人の公平性を欠くことになり、市の財政を圧迫し住民サービスに支障を及ぼすことにもなります。

納期限内に納付いただけない人には、法律に基づく延滞金(年14.6%)が課せられると共に、納付相談も納付もない方に対しては、強制的に徴収する滞納処分(財産の差押え等)が実施されます。

やむを得ない理由により期限内納付が困難な場合は、完納に向けての納付相談に応じますので、収税課へご相談ください。

圖税務課☎43-5022、収税課☎43-5034

ふれあい市長室

人形浄瑠璃の殿堂 淡路人形座完成

市民から愛される淡路人形浄瑠璃を目指して

南あわじ市長 中田勝久

先人たちが脈々と受け継いできた伝統芸能、淡路人形浄瑠璃に、新たな殿堂が誕生しました。淡路人形座は、近年の入場者数の減少に伴い、将来に亘っての安定した経営が危惧されてきました。そのような中で福良まちづくり推進協議会から、中心市街地である福良地域の活性化を図るため、昔あった福良港への移転要望がありました。新会館建設の方針を平成20年2月に決め、平成23年2月3日の起工式から1年6か月を費やして7月30日は竣工式を挙行、8月1日～5日の間に内覧会を開催し、8月8日グランドオープンすることができました。これもひとえに地元自治会、福良まちづくり推進協議会、うずしおの郷地域振興協議会、資金援助をいただいた国や県、淡路人形芝居サポートクラブ、ふるさと納税者及び市民の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。この新淡路人形座は、国指定重要無形民俗文化財である「淡路人形浄瑠璃」の保存伝承と、これを観る市民の皆様と関係者のご支援を心よりお願いいたします。